

平成 27 年入会（技術系職）

○穀検を知ったきっかけは？なぜ志望しましたか？

昔から実験が好きだったので、実験室で仕事がしたいと思っていました。穀検の求人情報が大学に来ていたのを教授が紹介してくださったので、業務内容を見ていいなと思い志望しました。

○学生時代の研究内容で仕事に通じることはありましたか？

植物が光合成を行っていくために必須の元素である鉄を葉緑体の中でどのように分配しているのか、品種や栄養状態を変えて比較を行っていました。

ごく微量の鉄を測定するために丁寧に正確な操作が必要だったので、分析の仕事をする上で欠かせないものが身に付いたと思っています。

○仕事内容を教えてください。

入会当初は、ひたすら米や麦の残留農薬分析をしていました。現在もグループとしてやることは同じではありますが、残留農薬分析の他にも分析に使う機械のメンテナンスや分析手法の改善、他の職員への業務指導など様々な仕事を行っています。

○身につけたスキルや資格はありますか？

学生時代の研究と違って全員でひとつの仕事を終わらせる必要があるため、他の人の仕事を観察して自分のすべきことを考える力が身に付いたと思います。資格としては、学生の時から興味があった危険物取扱者（乙4）を取得しました。

○職場の雰囲気はどうか？

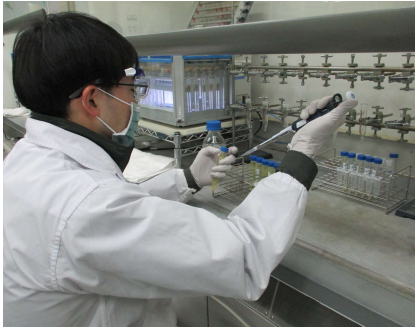
自分が入会した当初と比べ、若手職員の比率がかなり上がってきたため、活気が出てきたように感じています。

○仕事の中で心掛けていることはありますか？

業務上でのミスを極力減らすため、日頃からどういうところでミスが起こりそうかを考えて行動し、自分だけでなく他人の仕事にも意識を向けてミスを防げるよう気を付けています。ちょっとした違和感を放置しないことが大事だと思っています。

○これから応募される方へのメッセージをお願いします。

自分は本当にこの仕事に向いているのか、よく分からなくなってしまうこともあります。経験上ですが、実際に動いてみると周りの助けもあったりして案外なんとかなったりするので、色々なことに興味を持って積極的に動いてみてください！



平成 27 年入会（技術系職）

○穀検を知ったきっかけは？なぜ志望しましたか？

研究が思うように進まず、気分転換に立ち寄った大学の学生支援センターの求人募集票を見て、初めて穀検を知りました。穀検は、有名企業のように多くの人に知られているわけではありませんが、人々の日常生活を支えるうえで重要な役割を担っているところに魅力を感じたので志望しました。

○学生時代の研究内容で仕事に通じることはありましたか？

学生時代は、小麦の品種間におけるタンパク質の性質の違いを研究していました。研究で余った小麦と電気泳動の待ち時間を利用して始めたパン作りを極めているうちに、全てを投げ出し職人の道に進もうとも思いましたが、無駄に有り余る体力と粘着質な性格により、論文を書き終えたことが今ではいい思い出となっています。分析法の検討や仕事で生じるトラブルでは、一つずつ原因を検証し解決策を見出すことが必要となります。そのようなときには、研究で培った、化学の基礎知識だけでなく、体力や精神力が役に立っていると思います。

○仕事内容を教えてください。

入会当初は残留農薬の分析を行い、その後、分析法の開発を経て、現在はカビ毒の分析を担当しています。農薬とカビ毒では異なる分野のようにも見えますが、分析においては共通するところもあり、これまでの経験が現在の業務に応用できないか、試行錯誤をしながら取り組んでいます。

○身につけたスキルや資格はありますか？

理化学分析に関するスキルを身につけることができました。穀検に入って初めて触れる機器や道具もありましたが、社内研修を通して様々なことを学ぶことができたので、苦手意識を持つことなく取り組むことができました。また、日々のルーチン分析に関する知識だけでなく、新たな分析法の検討から、妥当性データの取りまとめ、標準作業書の作成に至るまで携わることができたので、分析業務を行う上での自信に繋がっています。

○職場の雰囲気はどのようなですか？

現在の職場は、理系出身で温厚な性格の方が多く、職員同士で程よい距離感を保ちながら仕事に取り組んでいると思います。また、時短勤務や、時差出勤など、自身のプライベートに合わせた勤務体系を選択している人も見受けられます。

○仕事の中で心掛けていることはありますか？

改善を躊躇わず、面倒臭がらないことを常に心掛けています。社会に出ると、多くのルールに縛られるため、何かを変えようとなると骨の折れる作業となり後回しにする傾向があります。前例を踏襲すれば、その場しのぎで楽ではありますが、先を見据えたときに、必ず付けとして回ってきます。そうならないためにも、現状を疑い、もっと良い方法があるのではないか、常に改善点を探しています。

○これから応募される方へのメッセージをお願いします。

私が大切にしている言葉で、「^{つま}たつ者は立たず、^{また}跨ぐ者は行かず」という偉人の言葉があります。この場で意味を語ってしまうと、メッセージ性が薄れてしまうので割愛します。IT 技術の発達とともに様々な情報に触れることで、他者に対し劣等感や焦りを感じネガティブになることもあるとは思いますが、そのような時こそ、自身を見つめ、無理をせず、ありのままの姿で頑張ってください。